

肺塞栓症診断における造影 CT 検査の Choosing Wisely に関する研究

1. 研究の対象

2015 年 4 月～2020 年 3 月に当院にて急性肺塞栓症疑いで造影 CT 検査を受けられた方

2. 研究目的・方法

2012 年に米国から始まった「Choosing Wisely (賢明な選択)」というキャンペーンによって、根拠が乏しいにもかかわらず実施されている過剰な医療行為を見直す取り組みが国際的に広がっています。我が国は 1,000 人あたりの CT 撮影回数が 176 回と多い国と言われており、医療被ばくの適正管理のあり方が検討されるなど、検査による被ばくが問題視されているところです。Choosing Wisely の視点から過剰な検査を見直すことは、医療被ばくの低減、医療費の削減につながり、社会保障費が問題となっている我が国では重要なことです。

肺塞栓症の診断には、造影 CT 検査が実施されることが多いですが、患者さんの放射線被ばく、造影剤による腎臓への負担、および高額な検査費用を伴う検査です。米国の臨床系専門学会では Choosing Wisely の視点から、臨床的確率が低～中程度の肺塞栓症疑いに対しては、造影 CT 検査をオーダーする前により患者さんへの負担が少なく低コストの D-ダイマーという血液検査での評価を推奨しています。

本研究では、肺塞栓症疑いの場合の D-ダイマー検査と CT 検査の実施状況を調査することにより、過剰な検査の見直しを図ることを目的としています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、検査所見、画像レポート診断名 等

試料：検査実施状況、診療情報

4. 外部への試料・情報の提供

患者さん個人が特定できないように情報を匿名化し、データ解析のために帝京大学 福岡医療技術部へ提供します。提供されたデータは、特定の関係者以外がアクセスできない状態で保管を行います。

5. 研究組織

済生会熊本病院 中央放射線部 奥村 秀一郎 (研究代表者)

帝京大学 福岡医療技術部 診療放射線学科 信太圭一 研究室

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

済生会熊本病院 中央放射線部 奥村 秀一郎

熊本県熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号

096-351-8000 (代表)

-以上